

駅ピアノ 優雅な音色 足を止め

柏森駅 ピアニスト弾き初めに拍手

扶桑町の名鉄柏森駅の構内に二十二日、誰でも自由に弾ける「駅&まちピアノ」が登場した。まちの活性化を目的に地元柏森区が設置。お披露目の式典ではピアニストの演奏。QRコードなどがあり、コンコースに響く軽やかな音色を大勢の利用者が楽しんだ。常設で、午前九時から午後九時まで弾ける。（水越直哉）



駅構内に設置された「駅&まちピアノ」。誰でも自由に弾ける＝扶桑町の名鉄柏森駅で

改札を出た正面の窓際に、アップライトピアノ一台を置いた。名古屋経済大（犬山市）が所有していたが、キャンパスのリニューアルで使わなくなり、連携協定を結ぶ扶桑町に寄贈した。ピアノの活用策を考える町と、「駅ピアノ」に使った一台を探していた柏森区の思いが一致し、区が譲り受けた。

セレモニーでは、刈谷市のピアニスト近藤由貴さんがバッハ作曲の「主よ、人の望みの喜びよ」で弾き初めをした。普段は人が通り過ぎるだけのコンコースに優雅な音色が響き、演奏が終わると集まった人たちから拍手が送られた。ほかに中島みゆきさんの「糸」、シヨパンの「英雄ポロネーズ」なども披露。名古屋経済大の教授や学生による演奏もあり、一般の人たちも鍵盤に触れた。

柏森区の市橋英男区長（セシ）は「楽しいイベントができれば模索する中、テレビで駅ピアノを見て癒やされたことがきっかけになった。町おこしへの期待や、柏森、扶桑の名前を発信できたという願いも込めた」と話した。